

5月の衛研検査情報

～トピックス～

医動物・食品中異物検査結果（平成29年度）

主な結果 3件の異物検査から、昆虫類1件（ハエ目）、その他の動物類2件（ミミズ綱1件、等脚目1件）が見つかりました。

小児科定点医療機関における病原体サーベイランス検査結果（2017年）

主な結果 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では、患者の咽頭拭い液36検体からA群溶血性レンサ球菌32株が分離されました。T型別ではT1型が最も多く、11株（34.4%）分離されました。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症検査結果（2017年）

主な結果 全国的に2014年あたりから発生件数が急激に増加し、横浜市でも同様の傾向が見られますが、その原因は不明です。また、年齢別では高齢者に多く発症する傾向がみられました。

食品等の苦情品検査（平成29年度） —食品添加物担当で行った理化学検査—

主な結果 福祉保健センター等に届けられた苦情品の中で、原因究明のために搬入された検体は31件60検体でした。苦情の内容は様々ですが、異物混入が多く見られました。

食品中の放射性物質検査結果（平成29年度）

主な結果 478検体の検査を行ったところ、4検体から放射性セシウムを検出しましたが、基準値を超えるものではありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成30年4月は、大麻（マリファナ）、麻疹（はしか）、疥癬（かいせん）、クロストリジウム-ディフィシル感染症、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多く見られました。総件数は126,535件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページをご覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。